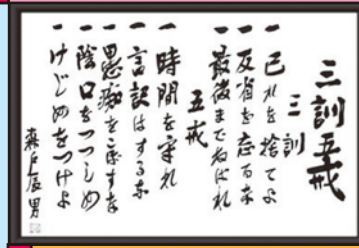




大正10年、東京の芝・日暮里と本所で開校した、鈴木文治が校長をつとめる「日本労働学校」が、わが国における最初の労働学校です。その後、労働学校は全国に広がり、戦前の民主的な労働運動を支えてきました。戦後、昭和26年に「日本労働者教育協会」がつくられ、民主主義の基盤としての労働運動の健全な発展に寄与してきました。「日本労働者教育協会」は、昭和46年、財団法人 富士社会教育センターと合併し、大正時代から始まった「自由にして民主的な労働運動」発展のための労働者教育運動は、志を同じくする皆さんと共に現在に受け継がれてきました。

社会運動としての友愛会のスタートは、もともと二種の労働者教育運動であった。  
『労働運動二十年』鈴木文治著より

# 労働運動と教育運動



2020 2021  
12月14日(月)～1月29日(金)  
平日 10:00～17:00 (12/28(月)～1/4(月)は休館日とさせていただきます。)



## 第1部 前史・戦後労働者教育



左右の全体主義と戦い、自由と民主主義の思想を貫いた河合栄治郎は、多くの後継者を残しました。戦後、階級闘争至上主義の労働運動が世の中を混乱させる中、労働組合主義(自由にして民主的な労働運動)を志す人々によって、「民主化闘争」が行われ、労働組合組織・職場は、民主化されていきました。そのための様々な教育運動が行われました。教育の進め方として行動学習方式が取り入れられ、広く労働運動家・指導者の養成が行われました。

## 第2部 生涯学習社会での教育運動



組合員とその家族の幸福の実現をめざす労働組合の活動として「ライフプラン」の様々な教育が行われています。経済設計・健康管理・人間関係・自己開発・職業生活・家庭生活・社会生活・レジャー生活など、多岐にわたる教育内容を通じて、気づきを得、情報提供する教育がたくさんさんの組織で行われるようになりました。また、青年・成人・退職準備期など、参加される方の年代ごとにセミナーを企画・実行されることも定着していきました。

## 第3部 多様化する教育内容



労働組合の様々な運動に対して、教育内容は多種多様化しています。政治参加・経営分析・職場コミュニケーション・労働法・働き方改革・メンタルヘルスなど多くの課題が生まれてきました。また昨今では労働運動が初めて遭遇するコロナ厄のなか、新しい生活様式に合致した職場活動の進め方などの研修内容、リモートなどインターネットを使った安全で新たな研修方式が求められ、実行が始められています。

共催

おかげさまで令和元年 創立50年をむかえました。

公益財団法人 富士社会教育センター

〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-12-15 0・Sビル3階  
電話 03-5835-3335 FAX 03-5835-3336

## 友愛労働歴史館

〒105-0014 東京都港区芝2-20-12 友愛会館8階 一般財団法人日本労働会館内  
TEL.050-3473-5325 FAX.03-3451-1710  
E-mail: yuairodorekishikan@rodokaikan.org HP <http://www.yuairodorekishikan.com>

友愛労働歴史館  
公式webページ  
QRコード



友愛労働歴史館  
公式Twitter  
QRコード

